

2022年度 第1回理事会議事録

2022年4月14日（木）19時30分、WEB上にて理事会を開催した。

定刻に、理事 伊藤伸が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	27名
本日の出席理事数	24名
監事総数	2名
本日の出席監事数	1名

■出席役員：会長）宇田英幸、副会長）伊藤伸 理事）赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、押野修司、小池祐士、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、鈴木真弓、鈴木康子、高橋啓吾、高橋暢介、田坂翔太、野村健太、原裕如、平田樹伸、逸見康子、丸達也、安永雅美、吉田朋子、渡部慶和
監事）川俣実

■委任役員：茂木有希子、岡部拓大、北村ミチル

■欠席役員： 監事）土屋美樹

■他出席：分須 暢 法人管理部）駒崎かんな

■他欠席：北部ブロック長）後藤昂 敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第1号議案 第12回 理事会議事録について【法人管理部：安永】（資料1）

議事録の内容を確認し、満場一致で可決された。

第2号議案 広報誌 彩り 2022年度春号の刊行について【広報部：伊藤】（資料2）

資料内容を確認し、刊行に関して満場一致で可決された。

第3号議案 養成校学生さんを広報部に部員として募集する件【広報部：伊藤】（資料3）

組織率強化のためにも学生の時から県士会の仕事に協力していただける広報部員を募集したいと広報部より提案された。募集は県内の学生とし、月1回の会議と一緒に参加し広報誌作成などに協力いただきたいと考えている。協力していただくため対価も支払いたいが、現在対価支払いに関しては会員であることが条件となっている。会員の同等の“部員”という名称ではなく、名称を定める必要がある。

学生会員の取り組みもうまく機能していないこともあり、学生の応募の有無も課題と思われる。継続審議とする。

第4号議案 研究協力に関する内規について【学術：押野】（資料4）

県士会ホームページから研究協力依頼時折ある。公平に対応できるよう「調査・アンケートへの協力要件チェックリスト」を作成した。チェックリストの条件を満たしたとしても紙媒体での個人情報または施設情報の開示は行わない。

WEB アンケートに関する掲載可能な内容や方法等は再度検討いただく。継続審議とする。

第5号議案 株式会社さくらほりさんとの福祉機器展へのコラボ参加について【ここら：原】（資料5）

国際福祉機器展のさくらほりきりブースへの協力依頼があった。OTの宣伝、埼玉県作業療法士会、ここら委員と、これまでの活動を紹介する。資料内容を確認し、満場一致で可決された。

第6号議案 論文電子化について【学術部：松尾】（資料6）

埼玉作業療法研究を発行しており現在医中誌 Web で検索可能となっている。しかし論文の電子化がされていないため、J-STAGE などに登録することで、無料で多くの方に見ていただくことが可能となる。

電子化の方向は5~6年前に決定しており、外部業者利用に関する予算や掲載先、雑誌名等については再検討していく。継続審議とする。

第7号議案 2022年度定時社員総会について（資料7）

総会の実施方法はオンラインとして、オンラインキー局は文京学院大学とし、議場出席者はなしとする。総会案内及び総会議案書の電磁的通知とする。参加できない代議員は書面または電磁的方法により表決していただく。次回理事会までに議長団を検討する。

第8号議案 2022年度定時社員総会議案書第1号議案（2021年度事業報告）について（資料8.資料9）

2021年度の事業報告・研修会一覧を作成した。赤字で修正した部分については各部局に確認を依頼した。未提出の部局は2022年4月15日（金）までに提出を依頼した。

追認1 年会費未納者の再入会に関する規程について

メール審議をし、満場一致で可決された。

追認2 埼玉県作業療法学会査読規程について

メール審議をし、満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

1) 事務局長：大橋事務局長より報告事項なし。

2) 法人管理部：安永部長より報告事項なし。

3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

定期便は4月20締め切り、5月1日を目安には配信予定。

事業報告を提出していない部署は、今週中に提出期限とする。

4) 財務部：北村財務部長欠席だがBAND上で以下の報告があった。

現在決算業務遂行中で、まとめ次第、BANDにあげる。

5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

編集委員会：学術誌の電子化に関する検討を実施した。

学術部：調査・アンケート協力に関する内規の検討を実施した。

第31回埼玉作業療法学会の演題査読を実施している。演題数は16演題であった。現在、14演題査読済み。

6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

第31回埼玉県作業療法学会 演題募集終了（16件：東部3件、西部6件、南部6件、北部1件）

演題査読中（今月末終了予定）

抄録作成中

7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

2021年度の部員や活動の協力いただいた会員に士会裁量ポイント（2ポイント）の付与を行う。
提出方法などは後日アナウンスする。会員氏名と会員番号の準備を願いたい。

8) 生涯教育委員会：神山理事より以下の報告があった。

講師を紹介または協力頂きたい。CVAについては、天草病院の先生を紹介いただいた。脊損・内部障害・手の外科のテーマで講師を募集している。研修企画を行う上で、講師および日程検討で時間を要してしまい、来年度での開催を検討している。

9) 養成教育委員会：岡部理事より欠席だがBAND上で以下の報告があった。

4月6日に2022年度埼玉県臨床実習指導者講習会協議体ミーティングを実施した。参加者は8名。
以下、議事録より抜粋。

・PT士会

2019年～2021年度実施し、1711名養成（うち埼玉県内1271名）。

各養成校が開催しており、実習に必要な数は養成できているが、申込倍率1.2-1.5倍でまだ需要がある。2021年度はオンライン開催5校、そのほかは対面実施。

2022年度は16回開催予定。開催方式は2校オンライン、そのほかは対面開催。

オンラインは受講者側の接続状況の確認や受講費振り込みなどの問題で運営の難しさがある。

・OT士会

2021年度は380名養成（うち埼玉県内276名）。4回すべてオンライン開催した。4年間で1300名程度養成できている。申込ペースは落ちているが、まだ需要があるため2022年度は4回開催予定。オンライン開催だが大きなトラブルもなく運営できている。

講習会運営は県士会が行っているが、各養成校に協力していただいている。精神科など県士会加入していない作業療法士も多い。そのため養成校推薦枠各校8名優先的に選出できるように対応している。

・リハ学校協会 臨床実習指導者講習会開催について

埼玉としては順調に講習会進んでおり、現時点ではニーズが上がってきておらず、今のところは開催の意向はない。

10) 職能開発事業部：鈴木真弓理事より以下の報告があった。

3月31日に2022年度の臨床実習指導者講習会の通年世話人に対し公文書の発行を行った。伊藤伸氏、磯直樹氏の尽力で病院勤務の世話人が新たに追加された（狭山中央病院の小島佑紀氏、埼玉セントラル病院の田坂陸氏）。田坂氏は公文書作成後に選出されたため4月に追加の公文書を作成する。

2022年4月6日埼玉県臨床実習指導者講習会協議体のミーティングに参加（伝達内容は上記養成教育委員会の報告に統合）。

11) 広報部：伊藤理事より以下の報告があった。

彩り 2022年春号発行準備

彩りダイジェスト版編集、ページ数が増えたため印刷業者に見積もり衣依頼中。

SNS運用規定をHPに掲載するために内容を見直し中。

公式Twitterの運用を開始した。

夏キャンの広報に向けて準備を開始した。

12) 地域リハ推進部：平田理事より報告事項なし。

13) 地域包括ケア推進部：野村理事より報告事項なし。

14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より報告事項なし。

15) 災害対策部：阪井理事より報告事項なし。

16) 制度対策部：石川理事より以下の報告があった。

OT 協会主催 令和4年度 診療報酬改定説明会（3月13日）に参加した。

回復期リハビリテーション病棟協会主催「2022年度 診療報酬改定説明会（3月19日～4月19日 WEB研修会 オンラインデマンド配信）」に参加した。

令和4年度 診療報酬改定 疑義解釈が厚生労働省HPに公表されている。県士会HPに情報を掲載する。

17) 各ブロック

・東部：小池理事より以下の報告があった。

学生との語らNight！3月平日の夜2回で開催済み。合計37名。

2022年度 第15回リモートで語らNight！（当事者講師）準備中。来月案内開始予定。

・西部：逸見理事より以下の報告があった。

第4回夏キャン2022会議を4月13日に実施。

今回は各ブロック毎に所属している養成校とコラボで実施する。オープンキャンパスは6月から始まっており、コラボで実施する日程も6～8月まで養成校毎に異なっている。オンラインで実施する学校と対面式で実施する学校があるが、感染状況によっては全てオンラインになる可能性がある。内容は各オープンキャンパス毎に異なっているが、相談会、動画でOTを紹介、模擬授業を実施、模擬授業でOTの紹介動画を流すということを行っていく。また夜の相談会も実施予定となっており、オープンキャンパス後の6～8月まで月1回の予定となっている。チラシのキャッチコピーを決め「こころとからだのスペシャリストって知ってる？その答えは作業療法士！」という見出しで制作することになっている。次回会議(第6回)5月9日となっている。

・南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。

夏キャン会議の開催。南部ブロック座談会の開催。県学会会議への参加。

・北部ブロック：後藤ブロック長欠席のため報告事項なし。

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：高橋暢介理事より報告事項なし。

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より以下の報告があった。

5・6月号のOT協会誌にこくろとMTDLPコラボの記事が掲載される。

20) 子ども支援委員会：田坂理事より以下の報告があった。

生活行為向上マネジメント委員会とのコラボ研修：令和4年7月8日（金）19時30分～ 子ども支援委員会&MTDLPコラボ研修「発達障害のMTDLPって何？」子どもの見方&書き方」に向けて準備を進めている。

10月頃と年が明けた1月頃に研修会を開催する予定。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。

22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。
埼玉県主催令和3年度高次脳機能障害に関する医療と福祉の連携研修会の参加者アンケートが県より届いた。

23) 運転再開支援委員会：赤間理事より報告事項なし。

24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。
4月2日（土）ここからOT室を行いました。参加者24名（学生1名）でした。

25) 第31回埼玉県作業療法学会：神山理事より以下の報告があった。
演題募集が終了し、全企画が整った。今後、座長および司会、運営スタッフの手配などを調整する予定。5月の理事会にて、ハイブリットかonline開催かの審議予定。

26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティネットワーク川越：渡部理事より報告事項なし。

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

新年度になった。コロナ禍は相変わらずな状況だがめげずに、OTらしい愉快的アイデアと工夫でしなやかに乗り切りたい。組織率向上のための学生さんとの協業案については、皆でいいアイデアを出してほしい。学生のみならず、当事者、民間企業と手を組み、開かれた作業療法士会の先駆けとなりたい。

2) 伊藤副会長

特になし。

3. 監事より

川俣監事

特になし。

Ⅲ. その他

次回理事会：2022年 5月12日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時50分閉会を宣した。

2022年4月14日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会